



目標を立て充実した夏休みに

副校長 宮澤 慎二

今年は、台風の影響により日本付近で強い下降気流が生じたことで、太平洋高気圧の発達が早く、7月上旬には梅雨が明けそうです。「梅雨明け10日」という梅雨明けに晴天が続くことを示す言葉がありますが、これからはじまる本格的な暑さに負けないよう、保護者の皆様につきましては、御身体にお気をつけいただければと思います。

さて、志茂田中学校では、1学期が始まってから3か月が過ぎ、7月18日（金）には、通知表をお渡しする予定となっております。その後の面談では1学期の学習や生活面等の様子を担任からお伝えするとともに、生徒を励ましなが、本校の第一に示している教育目標である「自ら学び、考える生徒」の実現に向け、今後の目標を生徒自身に設定し、夏休みの期間は、目標の達成に向け「自学」を軸にした充実した時間を過ごすようにしてもらいたいと考えております。

経済産業省より今後の人材政策の方向性を示した「未来人材ビジョン」では、次の社会を形づくる若い世代に対しては、「常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す能力」、「夢中を手放さず一つのことを掘り下げていく姿勢」、「グローバルな社会課題を解決する意欲」、「多様性を受容し他者と協働する能力」といった能力や姿勢が求められると記載されており、これからの採用では、「何を深く学び、体得してきたのか」が問われることが示されております。

また、同じく経済産業省作成の「イノベーション創出のための学びと社会連携推進に関する研究会」の報告書では、社会環境が大きく変化する今、日本の子どもたちの学力は世界トップレベルであるものの、主体性の低さ等が指摘されていることが取り上げられています。

本校においては、生徒が自ら学びに向かうことができるよう、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行っています。また、心理的な安全性の構築、信頼関係の確保を行いつつ、「自立した学習者」になれるよう、学習者端末等を生徒自身が積極的に活用し、情報収集等を進めながら自分で課題を設定したり、学びの意味や目的を見付けたりして、自分で学ぶ力を一層高めていけるように指導の充実を図っています。

御家庭でも、本人と話し合い、夏休みにまずは与えられた課題やテーマに沿った学びを習慣的に取り組むことからはじめ（学習習慣の定着）、その後は自らが興味のあることを学習していくことを（探求の自律化）助言していただければ幸いです。

7月の主な予定

1日(火) 生徒会選挙公示日
専門委員会
2日(水) ⑤カット 放課後：教員研修
4日(金) 評議委員会
⑤修学旅行説明会（3年）
⑥進路説明会（3年）
7日(月) 生徒朝会
10日(木) 安全指導 AM 公開授業日
卒業生の話聴く会（3年）
11日(金) AM 公開授業日
身体障がい理解教育（1年）

12日(土) 土曜授業 ①②公開授業日
③保護者向け情報モラル講習
放課後：引き取り訓練
14日(月) 振替休業日
17日(木) 美化活動(AM)
学校運営評議会
18日(金) 終業式 意見交換会
21日(月) 海の日
22日(火) 夏季休業日始
夏季教育相談（三者面談）始
～8月上旬まで
※18日(金)は、給食はありません。

Ⅰ 組移動教室 6月25日(水)～27日(金)

3日間の車山移動教室を無事に終え、多くの思い出とともに学校へと帰ってきました。

1日目は、フォレストアドベンチャーでアスレチックに挑戦し、高さや難しさに戸惑う様子も見られましたが、仲間の声に背中を押されながら、みんなで乗り越えていく姿が印象的でした。勇気を出して挑んだ経験は、今後大きな自信につながることでしょう。2日目の車山登山では、標高1,925mの山頂を目指し、冷たい風や険しい道のりにも負けず、励まし合いながら全員で歩き切りました。山頂に辿り着いたときには、達成感と感動の声が自然とこぼれていました。3日目の牧場体験は、動物とのふれあいを通して命のぬくもりや自然の恵みを学びました。

この3日間での様々な体験や、仲間と協力して過ごした集団生活は、普段の学校生活では味わえない学びと感動に溢れていました。この経験がこれからの学校生活や日々の行動に生きていくことを願っています。(文責：鮎沢)

フォレストアドベンチャー 蓼科にて



車山山頂にて



合同避難訓練

6月17日(火)

校庭避難時の様子

今年度も志茂田中学校と隣接している施設である小学校、おたっ子広場、つばさ蒲田教室、志茂田福祉センターと合同で避難訓練を実施しました。今回は志茂田中学校の3階調理室からの出火の想定でした。本番当日は猛暑の中でしたが、一人一人が当事者意識を持ち、火災から身を守る行動を取ることができていました。今回は火災を想定した訓練でしたが、災害は火災だけではありません。地震や洪水、津波なども含まれます。自分の身、さらには大切な仲間の身を守るために、それぞれの災害に臨機応変に対応できるよう、様々なケースを想定した訓練をこれからも実施していきます。(文責：羽鳥)



学校安全衛生委員会

6月は食中毒について内科校医の横山先生からご講話頂きました。例年この時期になると、食中毒のニュースが相次ぎます。食中毒は、細菌やウイルス、有害な物質に汚染された食品を食べたことで、下痢や嘔吐などの胃腸障害や言語障害、知覚障害、呼吸困難などを起こします。腐敗とは異なるので、食中毒の細菌やウイルスが食品に付着しても、「味」「色」「におい」は変わりません。対処法はそれぞれ異なりますが、調理時や食事の時には、手洗いをしっかり行うこと、調理器具やウイルスに汚染された物は、塩素系漂白剤でしっかり消毒することが大切です。また食中毒菌は、室温状態(10～40℃)の時に急速に増殖するので、お弁当などの食品を常温で置いておくこと、冷凍食品の解凍を室温でおこなうことは禁物だそうです。これからの暑い季節、普段以上に食中毒に気を付けて安全に食事をとっていきたいですね。(文責：早川)